

基本政策シート

2025年度	(管理番号)			部局名	
	分野	基本政策		市民部スポーツ振興担当	
	06	02	01		

分野	基本政策
文化・スポーツ	「する」「みる」「ささえる」でまちを元気にするスポーツの推進

将来の理想の姿(2044年)

創造都市を実現し、音楽の都やスポーツ文化都市として世界から注目されている。

10年後(2034年)の理想の姿

スポーツを「する」「みる」「ささえる」が相互に機能し、市民に活力が生まれ、にぎわいが創出されている。
年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ環境が定着している。

生活満足度に関する指標(分野指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
興味・関心事への取組	あなたは、興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか。	2.91	2.97				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

政策体系

政策番号	政策	事業名	担当課名
01	01	スポーツに親しみ、触れる機会の創出	スポーツ普及・活性化事業
		パラスポーツ推進事業	スポーツ振興課
		ビーチ・マリンスポーツ推進事業 普及促進事業	スポーツ振興課
		浜松シティマラソン開催事業	スポーツ振興課
		スポーツ推進委員等活動支援事業	スポーツ振興課
		体育振興会等地域スポーツ普及事業	スポーツ振興課
		小中学校スポーツ施設開放事業	スポーツ振興課
		静岡県市町対抗駅伝競走大会事業	スポーツ振興課
		ジュニアスポーツ育成事業	スポーツ振興課
		全国大会出場選手等激励事業	スポーツ振興課
02	01	誰もがスポーツを楽しむ環境の整備	大型スポーツイベント等誘致事業
		ビーチ・マリンスポーツ推進事業 管理運営事業	スポーツ振興課
		スポーツ施設運営事業	スポーツ振興課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

2025年度の取組の方向性

- ・スポーツ施設については、浜松アリーナ・四ツ池公園運動施設・新武道館・江之島ビーチコートの老朽化対策や社会ニーズの変化に対応した機能向上のため、民間活力の導入を視野に、リニューアル等を進めます。
- ・スポーツ振興については、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを進めるため、地域でスポーツを支える体制、学校開放事業の運用、インクルーシブスポーツ連携プラットフォームの活用、浜松シティマラソンのあり方等について検討を進めます。
- ・スポーツコミッションについては、ブラジルとのレガシー協定に基づくデフリンピック選手団の事前合宿受入れや、国際スポーツ大会等の誘致に向けた調整を競技団体などと連携して進めます。また、ビーチ・マリンスポーツの拠点整備を進めるとともに、競技団体等と連携した機運醸成と競技人口の拡大を目指します。

【2025年度の評価】

2025年度の基本政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

・スポーツ施設については、浜松球場の夜間照明設備やスコアボードをはじめ安全安心な施設利用、安定した競技利用のため、老朽化した施設設備の改修を実施した。また、ビーチ・マリンスポーツの聖地化に向け、江之島ビーチコート整備運営事業に着手したほか、カーボンニュートラルの推進の観点から各施設の照明LED化を実施した。

2026年度以降は、昨今の夏場の暑熱対策のため空調設備の更新・改修など社会ニーズに則した施設整備に努めていく。

・スポーツ振興については、市民が主体的に取り組むイベントに対し、負担金や補助金による支援を行うなど、市内の企業や市民団体が主となる取組みを支援することで、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを進めた。

2026年度以降は、(公財)浜松市スポーツ協会との協力による地域スポーツ振興のための体制の強化に取り組んでいく。

・スポーツコミッションについては、ブラジルとのレガシー協定に基づく東京2025デフリンピック選手団の事前合宿受入れや、サーフィン国際大会等、スポーツ大会等の誘致に向けた調整を競技団体などと連携して進めた。

2026年度以降は、アジア競技大会におけるアーティステックスイミング競技の周知と大会の機運醸成を図るとともに、各種大会や合宿のさらなる誘致拡大に向けて競技団体等との連携強化に努める。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		スポーツ振興課
	06	02	01	01	01	

政策
スポーツに親しみ、触れる機会の創出

政策の内容

レクリエーションスポーツから競技スポーツまで幅広い大会等への支援や、浜松シティマラソン、ビーチ・マリンスポーツ、パラスポーツのイベント開催など交流事業の展開により、地域スポーツの振興とスポーツに触れる機会を創出し、「する」スポーツ人口の拡大を目指します。
 スポーツに関わる様々なシーズとニーズをマッチングするプラットフォームの構築により、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に関連する個人や団体との連携を活発化させることで、新たなスポーツ環境を構築します。
 年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツを推進することで、共生社会の実現を目指します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
スポーツ	浜松市では、スポーツを観戦する機会が充実していると感じますか。	2.22	2.29				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・本市では、競技団体やスポーツ少年団、民間スポーツクラブ等による大会や教室、また浜松シティマラソンをはじめとするスポーツイベントが開催され、スポーツに関する様々な活動が行われている。
 ・R6「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は54.0%。仕事が忙しく時間がないとの回答が多いが、手軽運動できる環境が整えば実施可能という意見も多い。
 ・R6「成人の年1回以上の会場に出向いたスポーツ観戦実施率」は39.8%。仕事が忙しく時間がないとの回答が多いが、大会などが参加しやすい場所で開催されれば参加したいとの意見も多い。
 ・R6「成人の年1回以上のスポーツ支援実施率」は12.3%。支援を行わなかった理由は「機会が無かった」「情報が無かった」が多い。
 ・様々な主体によるスポーツ活動の支援、連携促進を通じて「する・みる・ささえる」体制づくりなどハード、ソフト両面の環境整備が必要となる。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	1,106,279				
決算	854,036				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	10.3				
会計年度任用職員	2.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
スポーツ普及・活性化事業	・浜松市スポーツ推進ビジョンに基づき市民に対するスポーツ振興事業を実施する ・地域スポーツスタートアップ事業を実施する ・スポーツ健康相談事業の開催を支援する ・浜松市地域スポーツ指導者養成事業の開催を支援する	12,510
		12,158
パラスポーツ推進事業	・インクルーシブスポーツイベントを実施する ・静岡県わかふじスポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の選手選考の実施と派遣を実施する ・市障害者団体と連携した浜松市障がい者スポーツ大会を開催する ・東海3県1市障害者スポーツ大会へ選手を派遣する ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンド開催を支援する ・パラスポーツ等の体験会を開催する	24,982
		20,570
ビーチ・マリンスポーツ推進事業 普及促進事業	・サーフィン国際大会(スマトラン・サーファリーズ・ハママツ・オープン)開催に対して負担金を支出する ・ビーチ・マリンスポーツ普及イベントを開催する ・江之島ビーチコート整備・運営にかかる事業者選定を実施する	31,010
		24,089
浜松シティマラソン開催事業	・浜松シティマラソンの開催を通じて、市民の「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興を図る ・令和6年度に実施した浜松シティマラソンあり方検討業務の結果を踏まえ、シティマラソンの今後について検討する	28,200
		28,200
スポーツ推進委員等活動支援事業	市内各地域におけるスポーツ事業の実施に係る連絡調整、並びに市民に対するスポーツの実技指導・助言を行うスポーツ推進委員の活動を支援する	3,134
		3,066
体育振興会等地域スポーツ普及事業	体育振興会や体育振興会支部の活動を支援する	19,381
		18,813
小中学校スポーツ施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放し、生涯スポーツを支援する	974,057
		736,008
静岡県市町対抗駅伝競走大会事業	静岡県市町対抗駅伝競走大会の出場選考会を開催するとともに、浜松市チームを派遣する	5,982
		5,019
ジュニアスポーツ育成事業	ジュニアスポーツの強化・競技力向上を図るための事業を実施する	3,051
		2,342
全国大会出場選手等激励事業	浜松市を代表して全国規模以上の大会に出場する者に対して激励金を交付する	3,972
		3,771

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
パラスポーツ体験延べ人数(人)	本市が主催、共催するパラスポーツ体験イベント等への参加者数	年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、市民が多様なスポーツに気軽に参加できる機会を創出するため	目標値	-	4,000	4,400	4,800	5,200	5,600
			実績値	3,491	4,397				
			達成率	-	110%				
浜松シティマラソンの開催負担金の決算額(千円)	浜松シティマラソン開催事業の負担金の実績額	市民の健康増進等を目的とするシティマラソンの走路警備等に対し支出する負担金は、安全、安心な大会開催に資するため	目標値	-	28,200	28,200	28,200	28,200	28,200
			実績値	26,200	28,200				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
パラスポーツへの興味度(%)	浜松市広聴モニターアンケート調査結果	インクルーシブスポーツへの市民理解度を毎年度アンケート項目で調査しているため	目標値	-	37	38	39	40	41
			実績値	33.6	30.8				
			達成率	-	83%				
浜松シティマラソン参加者数(人)	浜松シティマラソンの参加者数	スポーツを通じた健康増進や精神的充足に加え、社会的つながりの確保、地域経済の活性化、スポーツを媒介とした社会課題解決など、スポーツが持つ様々な価値や効果を生かし、市民が幸福を実感できるまちづくりを推進するため	目標値	-	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
			実績値	8,105	8,678				
			達成率	-	102%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間にスポーツ(運動)をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と答えた市民の割合	実績値	54	43					65
			達成率	83%	66%					
成人の年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間で実際に会場に出向いたスポーツ観戦・応援をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「月に数回程度」「月に1回程度」「年に数回程度」「年に1回程度」と答えた市民の割合	実績値	39.8	33.1					50
			達成率	80%	66%					
成人の年1回以上のスポーツ支援実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間にスポーツ活動の支援をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「月に数回」「年に1回」と答えた市民の割合	実績値	12.3	11.1					35
			達成率	35%	32%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

スポーツを「する」「みる」「ささえる」が相互に機能し、市民に活力が生まれ、にぎわいが創出されている。
年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ環境が定着している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
スポーツ普及・活性化事業	浜松市スポーツ推進ビジョンに基づき市民に対するスポーツ振興事業を実施した。 ・地域スポーツスタートアップ事業 ・スポーツ健康相談事業 ・浜松市地域スポーツ指導者養成事業	・長年にわたり、継続して実施されている事業であり、時勢を踏まえた見直し検討が必要。 ・市内競技団体が加盟する(公財)浜松市スポーツ協会との協力による地域スポーツ振興のための体制の強化に取り組んでいく。
パラスポーツ推進事業	・インクルーシブスポーツイベント(Challenge to インクルーシブ in 浜松)に、市は共催で負担金を支出した。 ・静岡県わかふじスポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会へ選手を派遣した。 ・市障害者団体と連携した浜松市障がい者スポーツ大会を開催した。 ・東海3県1市障害者スポーツ大会へ選手を派遣した。 ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンド開催を支援した。 ・パラスポーツの体験会を2回開催した。	・パラスポーツに高い専門性を有する県障害者スポーツ協会やふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム等との連携を図っていく。 ・誰もが身近にスポーツに親しむ機会の創出を、関係団体等の連携のもと進めていく。
ビーチ・マリンスポーツ推進事業 普及促進事業	・サーフィン国際大会「スマトラン・サーファリーズ・ハママツ・オープン」に対して負担金を支出し、開催を支援した。 ・ビーチ・マリンスポーツ普及のため、はままつビーチ・マリンスポーツ体験イベントを開催した。 ・江之島ビーチコート整備・運営にかかる事業者選定を実施した。	・サーフィン国際大会が盛況であり、市外から多く来場者があった。本市のスポーツ振興に大きな貢献が見込まれる事業に対しては、負担金や補助金により支援していく。 ・ビーチマリンスポーツの聖地化に向け、マリンスポーツの拠点整備について、競技団体や建設予定地の地元関係団体などの意見を聞く中で進めていく。
浜松シティマラソン開催事業	・浜松シティマラソンの開催した。申込者数:計8,678人 ・令和6年度に実施した浜松シティマラソンあり方検討業務の結果を踏まえ、今後のあり方について検討した。また、マラソン参加者にアンケートを実施した。	浜松シティマラソンを「地域に愛される市民マラソン」と位置付け、浜松らしい、個性的で魅力のある、持続可能な大会を目指し、課題等を整理して検討を進めていく。
スポーツ推進委員等活動支援事業	・スポーツ推進委員の活動を支援した。 推進委員数:236人(R7年度)	・近年では、スポーツ推進委員の担い手確保が課題となっている。 ・スポーツ推進委員は、地域スポーツ活動の中心となる組織であるため、(公財)浜松市スポーツ協会と協力し、その活動を支援していく。
体育振興会等地域スポーツ普及事業	体育振興会や体育振興会支部の活動を支援した。 支援団体数 103校区・支部	・体育振興会の活動を休止する地区が出始めている。 ・小中学校校区を拠点に活動する体育振興会は、地域スポーツ活動の中心となる組織であるため、(公財)浜松市スポーツ協会と協力し、その活動を支援していく。
小中学校スポーツ施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放し、生涯スポーツを支援した。 ・小中学校140校	・予約から使用料金の支払いまでができるシステム導入後、利便が向上したことで利用者数の増につながったが、システムの不具合により利用者に不便をかける事案が多数生じている。 ・システムの管理向上や利用調整機能の導入など利用の向上に努めていく。

静岡県市町対抗駅伝競走大会事業	・静岡県市町対抗駅伝競走大会へ、浜松市から2チームを派遣した。 浜松市北部チーム、浜松市南部チーム	・静岡県市町対抗駅伝競走大会に参加する浜松市チームが、市民に応援されるチームとなるよう、関係機関と連携してチーム運営を支援していく。
ジュニアスポーツ育成事業	ジュニアスポーツの強化・競技力向上を図るための事業を実施した。 ・中体連ジュニア選手育成強化事業 バレーボール、卓球など11競技 ・次世代スポーツ競技者育成事業費補助金 交付件数12件	・中体連のジュニア選手育成強化事業については、部活動の地域展開の動向を踏まえ、実施手法の見直しを検討していく。
全国大会出場選手等激励事業	浜松市を代表して全国規模以上の大会に出場する者に対して激励金を交付した。	・団体・選手の意欲高揚、郷土愛の醸成のため、当面の間は継続していく。 ・過去の贈呈者実績を活かし、より地域全体を盛り上げる仕組みづくりを検討していく。

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

レクリエーションスポーツから競技スポーツまで幅広い大会等への支援や、浜松シティマラソン、ビーチ・マリンスポーツ、パラスポーツのイベント開催など幅広くスポーツ事業を展開したことで、スポーツに触れる機会を創出することができ、「する」スポーツ人口の拡大と地域スポーツの振興につなげた

年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツを推進し、共生社会の実現に務めた。

2026年度以降においても、誰もがスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツの推進に努めていく。インクルーシブプラットフォームを通じて、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に関連する個人や団体との連携を活発化させ、新たなスポーツ環境の構築を目指す。

このほか、(公財)浜松市スポーツ協会との協力・連携による地域スポーツ振興のための体制の強化に取り組んでいく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		スポーツ振興課
	06	02	01	02	01	

政策
誰もがスポーツを楽しむ環境の整備

政策の内容

大規模施設整備については、多様化するスポーツニーズへの対応を意識しながら計画的に進めます。プロスポーツチームとの連携による観戦機会の創出や、国際大会・全国大会の積極的な誘致を進めます。ハード整備とソフト事業の一体的な取組を進めることで、スポーツが持つ「まちを元気にする力」を産業の成長や地域経済の活性化などにおいても最大限に活かし、にぎわいを創出します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
スポーツ	浜松市では、スポーツを観戦する機会が充実していると感じますか。	2.22	2.29				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もが身近にスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツの推進を通じた「する・みる・ささえる」体制づくりのため、ハード、ソフト両面の環境整備に取り組んでいる。
・東京2025デフリンピック大会の事前合宿の受け入れ準備のほか、レガシー協定に基づくブラジル選手団事前合宿やベトナムサッカー代表合宿の受け入れ、2026年アジア競技大会に向けた調整などを実施し、スポーツが持つ「まちを元気にする力」を最大限に引き出し、地方創生の実現に繋げている。
・スポーツ施設の老朽化に伴い、施設設備の不具合により施設運営を休止する事例が発生している。また、建設年度が古く、ユニバーサルデザインに対応しきれない施設がある。今後、社会ニーズの変化に対応し、スポーツ環境の向上を図る。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	5,346,042				
決算	5,864,064				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	5.6				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
大型スポーツイ ベント等誘致事 業	・レガシー協定に基づく、ブラジル選手団の事前合宿受け入れを実施する ・ブラジルろうあスポーツ連盟との協定に基づく、2025東京デフリンピックの事前合宿受け入れを実施する ・国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金を交付する ・ナショナルチーム、プロチーム、実業団の事前合宿の誘致及び合宿補助金を交付する ・大型スポーツイベントの誘致に向けた首都圏スポーツツーリズム展示会での誘致活動を実施する ・ブラジルとのスポーツを通じた相互交流促進のため、ブラジルオリンピック委員会主催のブラジリアンユーススクールゲームズ2025大会に浜松選手団を派遣する ・愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会の開催に向けた組織委員会と連携する ・サーフィン国際大会を開催する	69,704
		41,048
ビーチ・マリンス ポーツ推進事業 管理運営事業	・ビーチ・マリンスポーツ事業化計画に基づき、江之島ビーチコート整備・運営事業を実施し、ビーチスポーツの拠点を整備することで、本市独自のブランド価値を創出する ・遠州灘海浜公園江之島地区について、指定管理者制度により管理運営する ・サーフィンなどの海岸利用者のため、海岸防災林管理広場を管理する	10,991
		11,864
スポーツ施設運 営事業	・スポーツ振興費で管理する浜松アリーナなど56施設の管理運営及び施設整備を実施する ・浜松アリーナリニューアル整備に向けた入札公告等を実施する ・新武道館整備に向け施設規模や建設地を決定する ・四ツ池公園運動施設の野球場防球ネット設置工事や陸上競技場の第2種公認更新工事等を実施する	5,265,347
		5,811,152

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
スポーツイベント等開催事業費補助金の実績数(件)	補助対象事業の交付実績数	大型スポーツイベント等誘致数の実績と連動するものであり、短期成果指標の増加と比例するため	目標値	-	15	15	15	15	15
			実績値	13	16				
			達成率	-	107%				
市有スポーツ施設の適切な管理の決算額(千円)	スポーツ施設整備事業の実績額 ※2024実績値は決算整理	施設の日常点検の確実な実施により、危険箇所や不具合の把握に努め、中長期の視点から計画的に改修を進めるとともに、インクルーシブなスポーツ環境整備のため、施設のユニバーサルデザイン化と誰もが利用しやすい環境を整備するため	目標値	-	430,000	430,000	430,000	430,000	430,000
			実績値	-	2,396,836				
			達成率	-	557%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
大型スポーツイベント等誘致数(件)	大型スポーツイベントの開催やトップアスリート合宿の誘致数	スポーツ文化の定着を目指し、地域で活動するスポーツチームを応援する機運を醸成し、アスリートの競技を間近で観戦できる機会を創出することで、市民のスポーツへの関心を高めるため	目標値	-	40	40	40	40	40
			実績値	47	36				
			達成率	-	90%				
生涯スポーツ施設の利用者数(千人)	市有スポーツ施設の延べ利用者数(スポーツ振興課所管の56施設) ※2024実績値は決算整理	市民が多様なスポーツに気軽に参加できる機会を創出するため	目標値	-	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
			実績値	-	4,795				
			達成率	-	107%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間にスポーツ(運動)をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と答えた市民の割合	実績値	54	43					65
			達成率	83%	66%					
成人の年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間で実際に会場に出向いたスポーツ観戦・応援をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「月に数回程度」「月に1回程度」「年に数回程度」「年に1回程度」と答えた市民の割合	実績値	39.8	33.1					50
			達成率	80%	66%					
成人の年1回以上のスポーツ支援実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間にスポーツ活動の支援をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「月に数回」「年に1回」と答えた市民の割合	実績値	12.3	11.1					35
			達成率	35%	32%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

スポーツを「する」「みる」「ささえる」が相互に機能し、市民に活力が生まれ、にぎわいが創出されている。
年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ環境が定着している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
大型スポーツイベント等誘致事業	<オリンピックレガシー 国際交流> ・東京2025デフリンピック大会ブラジル選手団事前合宿の受け入れ ・ブラジリアンユーススクールゲームス2025参加に伴うブラジル訪問 ・東京2025デフリンピック大会ブラジル選手団支援 <国際大会> ・サーフィンの国際大会(WSL)開催負担金 <全国大会開催> ・第37回全国高等学校選抜ローイング大会開催負担金 <誘致・PR活動> ・スポーツチーム・アスリート向け総合展2025-Japan Sports Week-への出展 ・国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金の交付16件 ・浜松市スポーツコミッションPRツール作成	・大型スポーツイベント等の誘致に関して、情報発信・情報収集の方法について有効な手法の検討が必要である。 ・新武道館整備や浜松アリーナリニューアル整備など、整備終了後に行うスポーツイベント等、新たな大会の誘致に努めていく。
ビーチ・マリンスポーツ推進事業管理運営事業	・ビーチスポーツの拠点を整備することで、本市独自のブランド価値を創出するため、ビーチ・マリンスポーツ事業化計画に基づき、江之島ビーチコート整備・運営事業の契約を締結し、整備に着手した。 ・遠州灘海浜公園江之島地区内のビーチコート及びアーチェリー場について、指定管理者制度により管理運営を実施した。 ・サーフィンなどの海岸利用者のため、海岸防災林管理広場の管理を適切に実施した。	令和6年度の入札が不調となり、事業計画が遅れていた江之島ビーチコート整備運営事業について、施設規模などを見直すことで契約が成立し事業開始に至った。 唯一のビーチスポーツ拠点であることから、利用者の安全を確保したうえで既存コートの運営を継続しながら新コートの整備を進めていく。
スポーツ施設運営事業	・スポーツ振興費で管理する浜松アリーナなど56施設の管理運営及び施設整備を実施した。 ・浜松アリーナリニューアル整備事業について、RO方式による入札を実施したが不調となった。 ・新武道館整備に向け施設規模や建設地を決定し、令和8年2月の市民文教委員会において報告を行った。 ・四ツ池公園運動施設について、浜松球場のスコアボード改修のほか、陸上競技場の第2種公認更新工事などを実施した。	暑熱対策やユニバーサルデザイン化など、時勢に沿った要望が増加しているが、築年数の古い施設は躯体構造が問題となり対応が進まないことが課題となっている。 新武道館整備や浜松アリーナリニューアル整備など、施設の更新や大規模改修の際に、時勢に沿った機能向上の実施を含めた計画的な施設整備に努めていく。

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

大規模施設整備については、令和6年度の入札が不調となり事業計画に遅れが生じた江之島ビーチコート整備運営事業について、事業契約を締結し施設整備に着手した。このほか、新武道館整備事業について建設候補地を決定したことから、計画的な整備に努めていく。

2026年度以降は、浜松アリーナリニューアル整備の入札が不調となったため、その要因を整理し、整備手法をRO方式から従来発注方式へ変更し、利用者が安全安心に利用できるよう老朽化した施設設備の改修を着実に進めていく。

このほかスポーツ施設整備については、暑熱対策やユニバーサルデザイン化など、時勢に沿った要望が増加しているが、築年数の古い施設は躯体構造が問題となり対応が進まないことが課題となっている。

2026年度以降は、暑熱対策についての方針を整理し、優先すべき施設を除き、施設の更新や大規模改修を基本として、時勢に沿った機能向上の実施を含めた計画的な施設整備に努めていく。

大型スポーツイベント等誘致事業については、東京ビックサイトで開催される「スポーツチーム・アスリート向け総合展2025-Japan Sports Week-」に本市としてブース出展し、国内外のスポーツ主催者、競技団体等の来場者に対して、市内スポーツ施設、大規模大会・合宿案内等を発信したことで、スポーツイベント等開催事業費補助金においては、前年度を上回る補助金の交付件数となった。

また、市内の施設を活用したプロスポーツの試合件数も前年度を上回ることができ、レベルの高い試合を間近で観戦する機会の創出につなげることができた。

2026年度以降は、SNS等の活用等さらなる情報発信に努め、レベルの高い国際大会や全国大会の誘致、プロチーム等の試合観戦機会の創出など、市民のスポーツへの関心が高まるよう取り組んでいく。